

なかせきや 中関屋遺跡発掘調査説明資料

公益財団法人 山形県埋蔵文化財センター 令和元年8月10日(土)午後2時

調査要項

遺跡名(番号)	中関屋遺跡
所在地	山形県新庄市金沢字中関屋
時代・種別	平安時代の集落跡
起因事業	山形県立新庄病院改築整備
調査依頼者	山形県病院事務局県立病院課
調査機関	公益財団法人山形県埋蔵文化財センター
現地調査	令和元年6月17日から8月22日まで
調査面積	1840㎡
調査担当者	専門調査研究員 菅原哲文(現場責任者)
調査員	廣瀬美紀
検出遺構	ほったてばしらたてものあと 掘立柱建物跡、柱穴、土坑、溝跡
出土遺物	すえき はしき 須恵器、土師器、金属製品



図1 遺跡位置図(1/25,000)

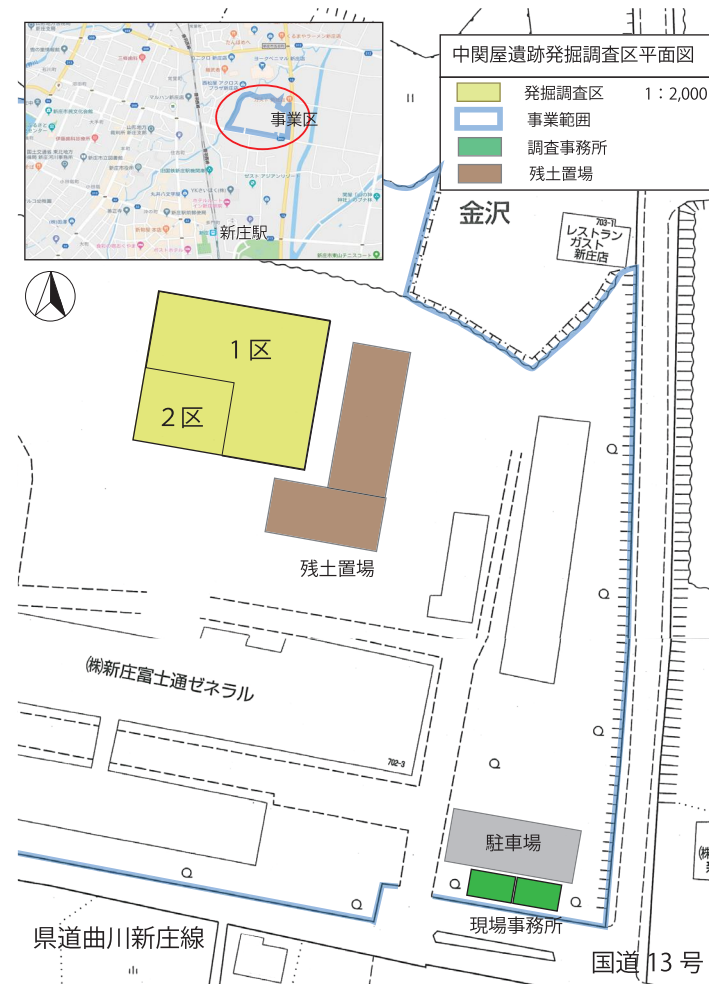


図2 調査区概要図(S=1/2,000)



写真1 1区表土除去作業(西から)



写真2 1区遺構の検出状況(東から)

1 調査の概要

中関屋遺跡は、新庄市金沢字中関屋に位置し、桁形川の支流、中の川の左岸に立地し標高は約107～108mを測ります(図1)。平成30年に、県立新庄病院改築事業により、事業区内の試掘調査を行った結果、新たに発見され登録された遺跡です。時代は奈良・平安時代となっています。

調査は6月17日から開始し、先行して調査を始めた地区を1区、ボーリング調査にかかる部分で7月から調査に着手した地区を2区とし(図2)、調査面積は合計1,640㎡です。調査期間は8月22日までの予定です。

2 検出された遺構と遺物

平安時代と考えられる遺構と遺物が確認されました。主な遺構ですが、掘立柱建物跡が3棟、柱穴、土坑、溝跡が確認されました(図2)。遺構は、1区の南側や2区の東側に集

中して検出されました。掘立柱建物跡は、SB8、SB23、SB42が確認されています。1区西側にあるSB8は、2×2間の総柱建物跡と推定され、建物跡の北西側は溝跡によって切られています。規模は、東西4.4m、南北4.4m、柱間は各2.0、2.2mです。柱の掘り方の直径は40～55cm、柱痕は直径15～25cmです。

1区と2区の境目にSB23掘立柱建物跡が検出されました。規模は、南北が3間で5.4m、東西が2間で4.6mです。掘り方の直径は30～46cm、柱痕は直径15～30cmです。

SB23の南側には、SB42掘立柱建物跡が確認されました。東西は2間で5.4m、南北は2間で4m以上になると思われていますが、南側は現代の攪乱によって切られています。

土坑はSB42の北側や範囲内に分布し、遺物が出土するものが認められます。このうち、SK20やSK21土坑は、覆土に焼土を多く含み、須恵器や土師器の破片が捨てられてい

ました。生活で生じた不要なものを廃棄したゴミ捨て穴と思われます。SK41土坑からは、ほぼ完形の土師器の坏が出土しており、意図的に入れた可能性があります。

1区の北側から2区の西側にかけて、SD1溝跡が確認されました。幅は90～130cm、深さは25～35cmです。溝は集落跡を取り囲むようにめぐり、溝の北側や西側には遺構の分布がほとんど認められません。

遺物は須恵器と土師器、金属製品が出土しました。須恵器は灰色の焼物で、穴窯などにより専門の工人によって焼かれました。坏、壺、甕などの器種が認められます。土師器は、赤褐色の焼物で、坏や甕が認められます。坏は食物などを盛る器、須恵器の壺・甕は貯蔵用に、土師器の甕は煮炊きに用いたと考えられます。坏の底部には糸切りによる切り離し痕が見られ、底部が小さい事から9世紀後半

頃の時期が考えられます。他に、銭貨の可能性のある金属製品がSK22土坑から出土しています。

3 まとめ

今回の調査では、掘立柱建物跡を中心とする平安時代の集落跡が明らかになりました。新庄市では、奈良・平安時代の登録遺跡が8カ所と少なく、発掘調査により市内のこの時代の集落跡が明らかになったのは初めての事例です。集落は外側を溝跡に囲まれていたと推定されますが、SB8掘立柱建物跡は溝跡に切られています。建物には時間差があり、新しい時代の集落になると溝で囲われるようになると考えられます。当遺跡では竪穴住居跡が確認されませんでした。地域的な特徴なのか、遺跡の性格によるのか今後検討していく予定です。



写真3 SD1 溝跡の調査状況 (北東から)



写真4 SB23 掘立柱建物跡の調査状況 (北から)



写真5 SB8 掘立柱建物跡 (東から)

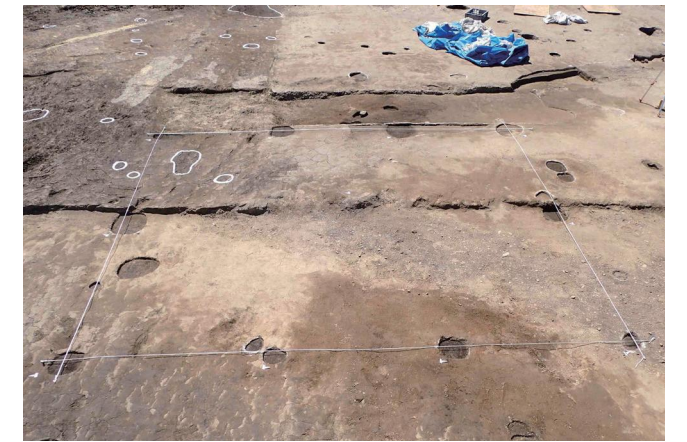


写真6 SB23 掘立柱建物跡 (東から)



写真7 SB23 掘立柱建物跡の柱穴



写真8 SB42 掘立柱建物跡 (北から)



写真9 SK20 土坑遺物出土状況 (東から)



写真10 SK21 土坑遺物出土状況 (南東から)



写真11 SD1 溝跡検出状況 (東から)



写真12 SK41 土坑内土師器坏出土状況 (南から)

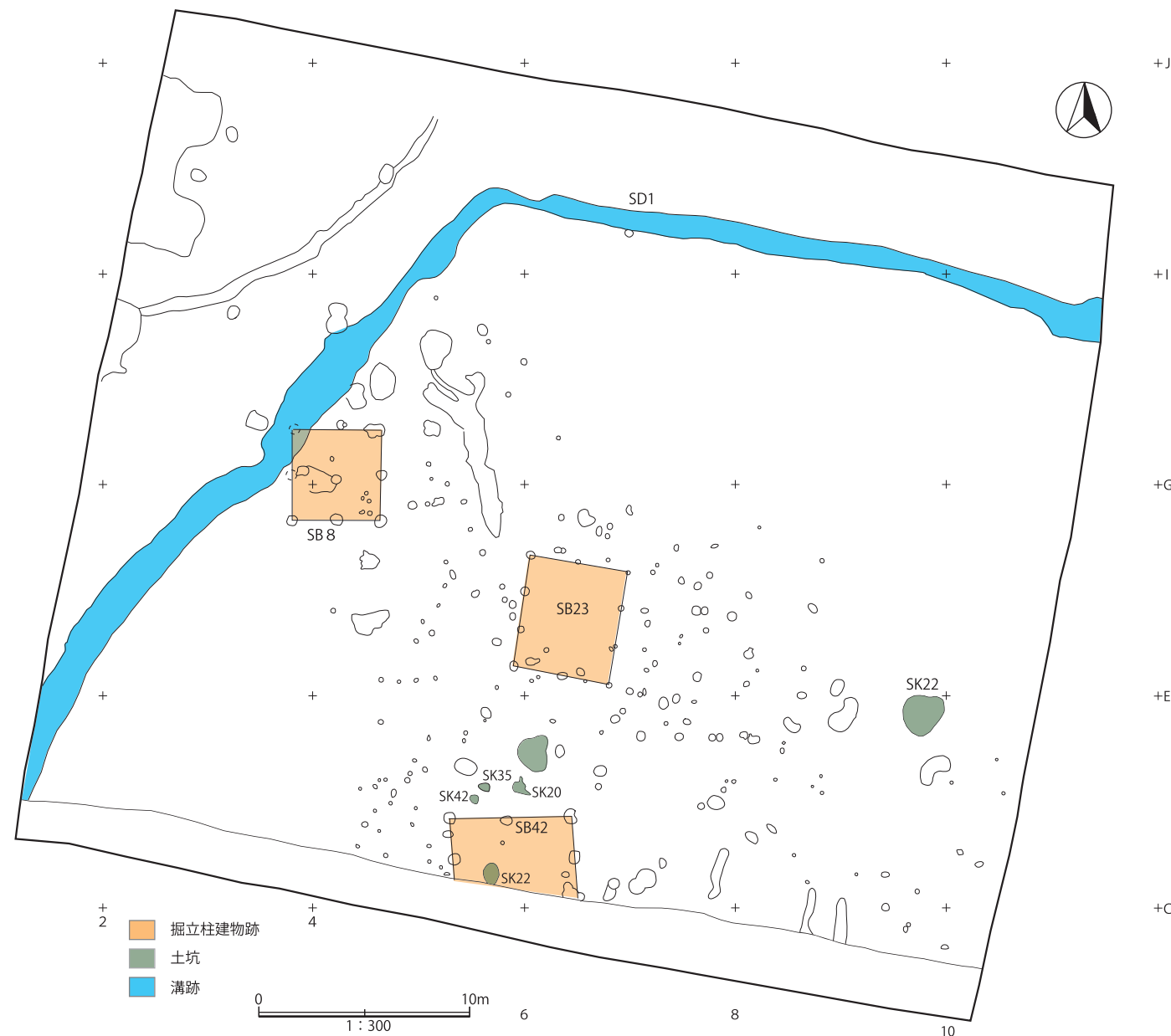


図3 遺構配置図 (S=1/300)